

# 民報 ゆうばり

# 「めが武」さん国政を語る

# 市民と野党の力で「安保法」・「共謀罪法」廃止を！

## 北朝鮮にミサイルを飛ばさせない 「話し合いで解決する政府」を

9月24日旧全日自労 事務所において、夕張では2回目の日本共産党北海道10区国政対策委員長の「めが武」と語る後援会のつどい」が開催され、19名の後援会員が参加しました。

はじめに、めが武さんは、9月28日の臨時国会冒頭で解散がきわめて濃厚な情勢の中、街頭演説の聴衆の反応やテレビ局の取材、23日の岩見沢の総決起集会での熱気などから、本格的に選挙戦に向かう現在の高揚した心境

次に、今総選挙の具体的な争点として、一つ目に、北朝鮮のミサイル発射問題をとり上げ、「圧力一辺倒のトランプ米大統領と安倍首相の対応では、事態は益々悪化する一方。」今政治にもとめられることは「北朝鮮にミサイルをとばさせない。」ことであると、そのために「北朝鮮問題を話し合いで解決する政権」「国連の核兵器禁止条約に参加する政権」の実現をこの選挙で誕生させなければならないと訴えました。

二つ目に、先進国の中で極端に低い日本の食料自給率の向上と安定供給。三つ目に、税金について、大企業の巨額の内部留保金(ため込み)を許さず、消費税に頼らない税制をつくらうと話しました。

その後、参加者から「前回も後援会のつどいに近所の方を誘って参加したが、大変評判がよかったです」「改憲NO! 3000万署名」の署名への地域の反応が非常によい。「疑惑隠しの安倍政権と自民党に対する多くの怒りの声」が沸き起っている。「是が非でも憲法9条を守りぬかなければ…」等の地域の声を紹介されました。

最後に、「憲法9条を守り、暴走する安倍政治を転換するため、今後も多くの人々と力を合わせていく」ことを、参加者一同確かめ合っつどいを終わりました。



二つ目に、先進国の中で極端に低い日本の食料自給率の向上と安定供給。三つ目に、税金について、大企業の巨額の内部留保金(ため込み)を許さず、消費税に頼らない税制をつくらうと話しました。

その後、参加者から「前回も後援会のつどいに近所の方を誘って参加したが、大変評判がよかったです」「改憲NO! 3000万署名」の署名への地域の反応が非常によい。「疑惑隠しの安倍政権と自民党に対する多くの怒りの声」が沸き起っている。「是が非でも憲法9条を守りぬかなければ…」等の地域の声を紹介されました。

最後に、「憲法9条を守り、暴走する安倍政治を転換するため、今後も多くの人々と力を合わせていく」ことを、参加者一同確かめ合っつどいを終わりました。

## 「戦争法」・「共謀罪法」廃止を求める集会開催 —南空知1市4町の会(夕張・由仁・南幌・長沼・栗山)—



9月19日、栗山・南空知前で、夕張から7名が参加した。この会は、夕張・栗山・長沼・由仁・南幌の1市4町の民進党・共産党の地方議員や市民団体を中心に活動しています。夕張から参加した「明日の平和をつくりだす夕張の会」の渡辺輝夫共同代表は、「2年間で7回の集会を開いて学習を深めてきました。夕張市の財政借金残は237億円、防衛費概算要求が5兆2千億円。これが真の平和

9月19日、栗山・南空知前で、夕張から7名が参加した。この会は、夕張・栗山・長沼・由仁・南幌の1市4町の民進党・共産党の地方議員や市民団体を中心に活動しています。夕張から参加した「明日の平和をつくりだす夕張の会」の渡辺輝夫共同代表は、「2年間で7回の集会を開いて学習を深めてきました。夕張市の財政借金残は237億円、防衛費概算要求が5兆2千億円。これが真の平和



民進党の千葉清巳栗山町議は「自民党を打ち負かすため野党4党が協力しなければならぬ」とあいさつしました。社民党道連副会長の豊巻絹子副代表は「憲法破壊の安倍政権を退陣させよう」と訴えました。

また、自由党の森裕子参議からもメッセージが寄せられました。

あいさつや訴えの最中に、通り雨が降りだしましたが、熱気あふれる集会が続けられました。

集会終了後、参加者は「戦争させない! 絶対させない!」などの横断幕や、シユプレヒーコールで栗山駅前商店街をデモ行進しました。

なのでしようか。」と訴えました。続いて藪田享共産党長沼町議は「自民党に勝てる選挙にするには、市民と野党の共闘が大事だ」と呼びかけました。

民進党の千葉清巳栗山町議は「自民党を打ち負かすため野党4党が協力しなければならぬ」とあいさつしました。社民党道連副会長の豊巻絹子副代表は「憲法破壊の安倍政権を退陣させよう」と訴えました。

また、自由党の森裕子参議からもメッセージが寄せられました。

あいさつや訴えの最中に、通り雨が降りだしましたが、熱気あふれる集会が続けられました。

集会終了後、参加者は「戦争させない! 絶対させない!」などの横断幕や、シユプレヒーコールで栗山駅前商店街をデモ行進しました。

# 3000万署名スタート 市民が政治を変える 市民が選挙を変える



を変えよう」と呼びかけられた。また、8日には、

全国の約7,500の『9条の会』に、

「安倍9条改憲を阻むために、全国の9条の会は立ち上がる！」と

19名の発起人が呼びかけ、改憲案の国会提出・

発議を阻止するため『3000万署名』が提起された。

戦争する国反対、

立憲主義を守りたい多くの団体の共同を呼びかけました。

集会参加者からは、「北朝鮮のために、防衛も必要と考える人をどのように説得するのか」「シールズが解散したが、若者の参加はどうなっているのか」

「札幌では毎週、紀伊国屋の前で、日本会議が街頭宣伝をやっているが：」「現在、被爆者署名に取り組んでいるが、今度は二つの署名

を同時にやることに名を同時にやることになるので、不安」などの質問がありました。

小田川さんは「北朝鮮問題は、「武力による平和か、話し合いによる平和か」のどっちを選ぶのかの問題と考

える。また、若者たちとの接点は、今はないので努力したい。たとえば、非正規・Wワーク(二つのバイトを掛け持つこと)の労働者を仲間を迎えたい。さらに、日本会議のスタイルは、私たちの運動をまねてソフト演説をやっている。それに負けない国民運動が大切。

被爆者署名も3000万署名も大事、二つとも頑張りましょう」と丁寧な答えました。

最後に、3団体からの決意表明があり、「9条ネット北海道」の紺野さんは、「権力は金と力で国民を黙らせる。私たちは数の力で対抗するしかない」、

道労連議長の黒沢さんは、「戦争はダメだよネの一点で、協同しよう」、新婦人の石岡さんは、「被爆者署名と3000万署名、平和の2署名と位置づけともに頑張ります」との力強い決意表明がありました。

9条関係者、約190名が参加した集会は、熱い熱気に包まれました。

## 武力による平和か 話し合いによる平和か が問われている

9月12日、札幌・か

でる27で、北海道憲

法共同センターと北

海道労働組合総連合

主催の「安倍9条改憲

NO! 憲法をいかす全

国統一署名スタート

集会」が開催されまし

た。

小田川義和さん(憲

法共同センター・全労

連議長)から、「安倍9

条改憲NO!の国民運

動を」と題する基調報

告がありました。

9月4日、『全国

市民アクション』が結

成され、「市民が選挙



岩渕 友「国会かけある記」  
参議院議員

## 岩渕 友

### 党利党略の解散に審判を

安倍首相が、二十八日に召集される予定の臨時国会冒頭で衆議院を解散すると言っています。森友・加計問題をめぐる疑惑、日報隠ぺい疑惑にフタをするための、あまりにも露骨な疑惑隠しであり、国民の怒りと批判、野党の追及に追い込まれていることの表れです。

野党四党は六月末に、これらの疑惑を明らかにするため、憲法五三条に基づいて臨時国会を開けと要求してきました。この求めに応じず三カ月も放っておいて、ようやく臨時国会を開くと思ったら、まともな議論も疑惑の解明もしないまま解散する。「党利党略のための解散」「立憲主義の観点から認められない」など、批判の声があがるのは当然のことです。こんなやり方を許すわけにはいきません。

安倍首相は、今解散すれば多数の議席を得ることができると思っているかもしれません。改憲勢力三分の二以下どころか、少数派へと追い込んで、思い知らせようではありませんか。

昨年の参議院選挙以降も、新潟県知事選挙、仙台市長選挙と共闘は発展してきました。安保法制はもちろん、共謀罪の廃止を求める声は上がり続けています。安倍政権を倒すための鍵は市民と野党の共闘です。そして、野党共闘を誠実に進め、安倍政権にかわる新しい政権、野党連合政権を提案する日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。

市民と野党の共闘の勝利、日本共産党の躍進で安倍政権に審判を下そうではありませんか。私も全力を尽くす決意です。